

令和7年1月定例教育委員会議事録

1. 日 時：令和7年1月28日（火）13時30分～15時00分

2. 場 所：離島開発総合センター 中央会議室

出席委員：委員 中村 好秀 委員 升水 裕司
 委員 浦 いせ子 委員 横山 明美
教育長 中村 慶幸
事務局 教育次長 牧尾 豊
教育生涯学習班長 山元 忍
図書館係長 津田 朋子（欠席）
文化財係長 平田 賢明
教育総務係長 坂井 翔

3. 附議案件

(1) 前回議事録承認の件

(2) 教育長報告

(3) 報告事項（12/16～1/17まで）

1) 各種委員会、協議会等について

報告第41号 第1回教育支援委員会(12/18)【非公開】

報告第42号 第4回ふるさと留学協議会(12/19)【非公開】

報告第43号 第3回北松西高校魅力化推進協議会(12/19)

報告第44号 第5回ふるさと留学協議会(12/25)【非公開】

報告第45号 第2回教育支援委員会(1/7)【非公開】

2) その他

① ちかまる寮クリスマス会(12/21)

② 山学校 門松づくり(12/25)

③ 中学校吹奏楽部アンサンブルコンテスト(12/26)

④ 第77回成人式 二十歳の集い(1/3)

⑤ 北松西高校2年生「第22回夢アイデア交流会2024」最優秀賞受賞報告(1/10)

⑥ ふるさと留学プロジェクト会議(1/17)

(4) 協議事項

1) 令和7年度教育委員会関係当初予算について

2) 教科用図書採択地区の変更に係る希望調査について

3) 小値賀町教育振興補助金等交付要綱の一部改正について(案)

(5) その他

① 2月行事予定について

② その他

次回定例教育委員会の日程 2月21日(金) 13時00分～

事務局 (牧尾次長)	<p>それでは定刻となりましたので、ただ今から 1 月定例教育委員会を始めたいと思います。本日は全員出席となっておりますので、よろしくお願いします。 それでは教育長、よろしくお願いします。</p>
<p>3 附議案件</p>	
<p>(1) 前回議事録承認</p>	
教育長	<p>早速、附議案件に入りたいと思います。まず、(1) 前回議事録承認の件です。前回の議事録で何かありますでしょうか。</p>
教育長	<p>よろしかったですかね。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
<p>(2) 教育長報告</p>	
教育長	<p>続きまして (2) の教育長報告ですけれども、この中で何かありましたでしょうか。</p>
教育長	<p>よろしかったですかね。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
事務局 (牧尾次長)	<p>はい、ありがとうございます。</p>
<p>(3) 報告事項</p>	
<p>1) 各種委員会、協議会等について</p>	
教育長	<p>続きまして、(3) 報告事項です。12 月 16 日から 1 月 17 日までですけれども、まず 1) 各種委員会協議会等について、報告第 41 号 第 1 回教育支援委員会、12 月 18 日ですけれども、その中で何かございますでしょうか。</p>
<p>(非公開)</p>	
教育長	<p>報告第 41 号は、これでよろしかったですか。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>はい。ありがとうございます。 続きまして、報告第 42 号 第 4 回ふるさと留学協議会、12 月 19 日です。これについて、何かありましたらお願いします。</p>
<p>(非公開)</p>	
教育長	<p>ないようでしたら、次に行ってよろしいでしょうか。</p>

教育委員	はい。
教育長	続きまして、報告第 43 号 北松西高校魅力化推進協議会です。 12 月 19 日です。何かありますでしょうか。 よろしいですかね。よろしいでしょうか。
升水委員	1 つ教えてください。すいません、離島留学についての話が後半に出てくると思うんですけど、離島留学説明会に留学生が 1 人で行っても、なかなか難しいんじゃないかとかいう話が出てくるんですけども、こちら辺の説明は、ちょっと教えてもらえますか。離島留学説明会っちゅうのは、どういう会ですか。
事務局 (牧尾次長)	はい、事務局です。高校魅力化の来年度の事業計画を審議する中で、全国です、離島の高校が集まって説明会の場が設けられます。 その中で、今回、先ほど報告 42 号でありましたとおり、一応、内定を受けました離島留学生が、もし合格されたときには、その留学生にですね、是非、その説明会に参加していただいて、離島の魅力、小値賀の魅力を発表してみたらどうかというふうな話が出てました。で、その中で、やはり留学生、来たばかりですので、小値賀のこととかまだ分からないことや、なかなか 1 人で行っても、心細いとか、生徒と 2 人 3 人で行った方がいいんじゃないのかというふうなご意見があって、留学生と地元の北松西高校生と 2 人 3 人のチームで、その説明会に参加した方が、よりいい成果が出るんじゃないのかなというふうな協議になりまして、この離島留学説明会には、こちらに来られた離島留学生と小値賀にいる高校生と、その、チームで参加してはどうかというふうな内容になっております。以上です。
升水委員	離島留学説明会に、その新しく今度ふるさと留学で留学してきた子どもを、まず 1 人でっていう話があったんですけども、それじゃなかなか小値賀のことがよく分かってないだろうから、地元の高校生を 1 人か 2 人かつけて、一緒に行った方がいいんじゃないかという話ですね。
事務局 (牧尾次長)	はい、そうです。
教育長	補足します。
升水委員	はい。
教育長	離島留学の説明会っていうのは、あくまでも地域みらい留学のプラットフォームに参画している学校の説明会です。
升水委員	それが分からんやった。
教育長	地域みらい留学に参画しているところだけが集まる、東京とか大阪での合同説明会っていうのがあって、それぞれの学校がブースを設けて、来られる方々に

	<p>自分の地域の紹介や学校の PR をしたりとかっていう、その説明会に来年度行くように予算要求をしてるんですね。で、それは当然高校生だけじゃなくて、うちの担当とか、ふるさと留学協議会の委員さんも行くとか、教職員も、高校からも行くとか、大人も行くんですけど、生徒も連れて行こうっていう話になっていて、前回のこの魅力化推進協議会の予算の内訳が、高校生が 1 人だけだったんで、1 人だけじゃなくて、やっぱり精神的にも負担になるから、2 人以上は行った方がいいよねと。そうしたときに、小値賀出身の生徒だけじゃなくて、実際に留学してる生徒も行った方がいいよねと。ただ、予定どおりに入学したとして、まだ何か月かしか小値賀の中で過ごしてなくて、自分が島の生活に慣れるのが精一杯の状況で、なかなか地域の紹介とか学校の紹介とかできないから、そこはやっぱり、1 人よりも 2 人、2 人よりも 3 人いた方がいいよねとかっていう話をしたっていうところです。</p>
升水委員	<p>それでよく分かりました。それで、最初 1 名を予定していたっていう、高校生を 1 名予定してたということですけど、その予算は高校が取ってる予算ですか。</p>
教育長	<p>そうです。高校の魅力化推進事業の補助金、つまり町の補助金です。ですので、お金を出すのは町です。</p>
升水委員	<p>町が出すんですけども、予算の計上としては高校が、高校生 1 名を離島留学の説明会に出張させますよっていうことたいね。</p>
教育長	<p>そうです。それで、高校は、別に留学生を連れて行くとか、小値賀の子どもを連れて行くとかっていうわけじゃなくて、高校の先生 1 人分と確か高校生 1 人分やったですかね、を上げてたんですけど、うちは、ふるさと留学協議会の方で、ふるさと留学事業の方で、担当や協議会の委員さんが行くっていう予算立てをしていたんですけど、ここの協議の中で、委員さんから、1 人だけじゃってのがあって、私も同じような意見だったんですけど。で、先ほどの説明になります。</p>
升水委員	<p>はい。よく分かりました。</p>
教育長	<p>ほかにございますでしょうか。よろしかったですかね。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>はい。続きまして、報告第 44 号 第 5 回小値賀町ふるさと留学協議会、12 月 25 日ですけど、何かございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(非公開)</p>
教育長	<p>ほかございますでしょうか。 なければ、次に行ってよろしいでしょうか。</p>

教育委員	はい。
教育長	ありがとうございます。続きまして、報告第 45 号 教育支援委員会第 2 回目です。1 月 7 日です。何かございますでしょうか。
	(非公開)
教育長	ほかにごございますでしょうか。よろしいですかね。
教育委員	はい。
教育長	はい、ありがとうございます。
	2) その他
教育長	続きまして、2) その他の報告です。今回は少なく、6 項目ですけど、この中で何かございますでしょうか。
升水委員	はい。
教育長	はい、お願いします。
升水委員	④の第 77 回成人式の、20 歳の集いのところですよ、新成人が 11 名なんですけど、恩師の教諭、先生方は 10 名来られてるんですけど、毎年、なんか、こういうふうに先生は来られてたんですかね。
浦委員	今年が多いね。そんな感じがします。
教育長	現役の先生もおられるけんですね。現役で小値賀におる先生も。
中村委員	高校の先生ならば、まだ任期が長いので。
事務局 (山元班長)	<p>すいません、事務局です。お答えいたします。</p> <p>今回は、恩師の先生 10 名ですけども、一応、恩師の先生の案内を出す方につきまして、新成人の対象者の皆さんに事前にアンケートを取りまして、どなたを呼びたいですかという事で、アンケートをまず取らせていただいています。その中で、呼んで欲しいという恩師の先生が出てこられた時に、こちらからお声掛けをさせていただいたんですけども、今回全部で 14 名の先生方にお声掛けをさせていただきました。その中で、出席いただいたのが 10 名です。</p> <p>それで、先ほどからおっしゃっていただいたように、町内の方が、6 名ほどいらっしやったかと思うんですけど、町外から来られた方が 4 名ほどいらっしやったかと思えます。元小学校の先生だったり、中学校の先生だったり、現に北松西高校、それから中学校にいらっしやる先生もいらっしやいますので、そういった形で恩師 10 名という数字になっております。</p> <p>すいません、なかなかネットワークが繋がらなくて、正式な、正確な数字が出</p>

<p>教 育 長 事 務 局 (山元班長)</p>	<p>てきませんが、はい。</p> <p>一般来賓 3 名というのが、逆に少ないですよ。</p> <p>はい、すいません。一般来賓の 3 名につきましては、議長、総務文教の委員長、それから、選管の委員長で、そのほかにですね、2 名ほど出席予定で返事をいただいていたんですけども、直前に身内のご不幸だったりですとか、ご自身の病気とかですね、ちょっと風邪引いてしまったりとか、ということで、欠席が 2 人ありまして、そのほかの方につきましては、ちょっと一般来賓も 10 何人ぐらい出してるんですけども、出席で返事をくださったのは、その 5 名っていう形です。</p>
<p>教 育 長 教 育 委 員</p>	<p>はい。ほかにございますでしょうか。よろしいですかね。</p> <p>はい。</p>
<p>教 育 長</p>	<p style="text-align: center;">(4) 協議事項</p> <p>はい。それでは、続きまして、(4) 協議事項です。 まず、1) 令和 7 年度教育委員会関係当初予算案についてですね。</p>
<p>事 務 局 (牧尾次長)</p>	<p>はい。事務局です。協議事項 1 ですね、令和 7 年度、翌年度の予算要求の主要事業案になっております。今回多くの事業を示させていただいております。</p> <p>全部で 46 項目になります。この中でですね、主だったものを簡単に説明をさせていただきます。まず 1 番目ですね、ふるさと留学受入事業、これは 1、2、3 と関連してきますけれども、来年度も先ほど協議いただいて説明させていただきましたとおり、留学生を積極的に受け入れると同時に、募集の方ですね、積極的に行う、させていただくというふうなことで事業に取り組みさせていただけることにしております。で、5 番目に、小中高一貫教育の方も学力の向上と合わせてですね、取り組むことにしております。</p> <p>で、下の方に移りまして、17 番目、新規事業で黄色の色がついてるかと思えますけれども、老朽化した地区の住民センターの補修になっております。</p> <p>ここは、浜津地区住民センターの解体、新築建て替えの工事を行うことで、来年度は、調査設計とかを予定をしているものでございます。</p> <p>で、その下の、次のページになりますかね、No.18 番 ピース文化祭開催事業ということで、令和 7 年度の本番になります。来年ですね。</p> <p>内容としては、小値賀大文化祭とアーティストアイランド事業の方を計画しております。で、No.26 番が、離島開発総合センター改修工事の方ですね。</p> <p>空調の方が、改修工事の方でちょっと予算を計上させていただいております。</p> <p>続きまして、28 番と 29 番も同様、施設の維持管理になりまして、28 番は、総合体育館の改修工事ですけども、こちらの方も実施設計が終わってますので、来年度は、改修の方に向けてですね、予算要求をさせていただいております。</p> <p>若者交流センターについては、雨漏り対策の来年度設計、実施設計ですね、設計をする予定にしております。で、32 番、町民レクリエーション大会、令和 7 年度開催を予定して予算計上をさせていただいております。</p> <p>下の方に行きまして、35 番の図書情報システム更新事業ということで、図書</p>

	<p>館と小中学校の図書室の方にですね、システムを導入してるんですけど、その更新時期が令和 7 年度になっていて、パソコンというか、システム更新になりますので、予算要求をさしていただいています。</p> <p>ページ変わりました、ずっと下の 39 番、40 番、42 番は、文化財の施設の補修事業になります。39 番は野崎にあります神官屋敷の外壁の補修をですね、来年度、尼忠東店と同様に外壁補修を計画をしております。</p> <p>42 番は、旧小西家住宅の改修をですね、令和 8 年度開始に向けてから設計の方に移りたいというふうな内容になっております。</p> <p>で、最後 44 番になります。旧野首教会保存修理工事の完成記念事業ということで、令和 7 年度 10 月末、11 月か、工事が一応終わる予定になっております。</p> <p>その折にですね、完成記念事業を行いたいということで、予算計上させていただいております。記念のですね、式典というか、行事をこのとおりに実施していきたいと考えております。簡単ですけど、主要事業の説明にさせていただきます。よろしくをお願いします。</p>
教 育 長	<p>はい、ありがとうございます。46 も事業があつて、これ主要事業というよりも事業一覧のような状態なんですけど、ボリュームあつて大変ですけど、何かこの中で気になることとかありますでしょうか。</p>
横 山 委 員	<p>はい、すいません。</p>
教 育 長	<p>お願いします。</p>
横 山 委 員	<p>44 番の記念事業の中の講演、施工解説、保存修理工事体験イベント、小値賀子ども職人工房っていうのは、どういうことなのかなって思っているんです。</p> <p>小値賀子ども職人工房、ちょっとイメージできないんですけども。</p>
事 務 局 (平田係長)	<p>事務局の方からご説明いたします。今お尋ねいただいた部分に関しましては、旧野首教会の施工に関わった、設計士、大工、左官、装飾スタンドグラス職人、電気設備等の職人さんを通して、子どもたちにその体験イベントを実施するというので、要は、小さいうちに文化財修復の技術を体験する、職人さんの指導のもと学ぶというような機会にしておりまして、イメージ的には、町民ホールそれぞれに 6 か所ないし 8 か所職人さんたちごとにブースを設置して、小値賀の子どもたちが希望する職人さんのところに出向いて、そこで、例えば大工だったら、墨打ちの練習をしてみたりとか、ノコギリの使い方だったり、スタンドグラスであれば、そういったものへの装飾の制作や、設計であれば、そういう部材を使つての建物のパズルを作ってみたりというふうに、小さいうちから、そういった職業に触れるという機会を、ぜひ職人さんたちを中心にやっていきたいというふうに思っておりまして、そのような内容の予算要求を実施させていただいている状況です。以上になります。</p>
横 山 委 員	<p>ということは、その工事に関わった職人さんとかが、なんか中心となって、その場で体験をしていくってことですね。</p>

事務局 (平田係長)	はい。子ども職人工房の前の時間は、その職人さんたちが、匠の世界っていう形で、プロジェクターで施工中の写真なんかを出しながら、こういった技術が非常に難しく、施工が難しかったとか、こういう工夫をしましたとか、自分の仕事は、こういう意義があるっていうふうな声をですね、自分たちの経験から子どもたちに伝える場を設けるというふうな予定であります。
横山委員	何度もすいません、子どもだけですか。
事務局 (平田係長)	すいません、全部順番どおりご説明すればよかったんですけど、前半の方のこの説明欄のですね、上半部分に関しましては、大人も子どもも対象としていて、長崎のカトリック教会と旧野首教会ということで、林和真先生という方が長崎総合科学大学の名誉教授で、教会の修繕のアドバイザーに入っていますので、その方のご講演と、また、令和の大改修に迫るというふうな仮のテーマで、保存修理設計や管理にあたった都市環境研究所の赤松さんであったり、保存修理工事を施工しました友建設の加山常務に、ご講演をいただけるふうな形にしております、ここは、一般の町民の方も子どもも、聴講が可能という流れになります。以上です。
横山委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	ほかにありませんでしょうか。
升水委員	はい。
教育長	はい、お願いします。
升水委員	すいません、42番目になるんですけど、これも文化財の方なんですけど、この実施設計はですよ、旧小西家住宅の外構の石垣の崩れたところですかね、実際に。
事務局 (平田係長)	はい、事務局です。ここの外構工事というのは、今升水委員さんがおっしゃったみたいに、旧小西家住宅の崩れた石垣の積み直しを中心としたものですが、現在、実際にどう積み直すかっていう議論が、まだ深まっておりませんので、施工、見積もりは見ておりますが、まだ実施設計の予算は、当初予算では、まだ見送っている状況です。
升水委員	はい。わかりました。
教育長	ほかにございますでしょうか。
升水委員	すみません。
教育長	はい、お願いします。

<p>升水委員</p>	<p>30番なんですけど、この、Vファーレン長崎と長崎ヴェルカの連携事業っていうのがあるんですけども、これなんか、総務課の方からこっちの教育委員会の方に移管されたというふうに書かれてるんですけど、ほかの町村も、こういう、例えば旅費とかの補助とかは、やってるところがありますか。</p>
<p>事務局 (山元班長)</p>	<p>すいません、事務局です。お答えいたします。 まず、各市町もですね、Vファーレン長崎、それからヴェルカの応援自治体ということで、提携を結んでいるといたしますか、そういう状況になっております。 その中で、県内みんなで盛り上げましょうということで、こういった各市町ですね、応援のツアーですとか、そういう各市町が、それぞれで行う連携事業があるんですけども、それぞれの自治体によって濃淡はありますけれども、同じように応援ツアーを実施している自治体は多数ございます。</p>
<p>升水委員</p>	<p>はい、わかりました。</p>
<p>教育長</p>	<p>しばらく休憩します。</p>
<p>教育長</p>	<p>再開します。ほかございますでしょうか。よろしいですか。 これ、社会教育の方であんまり見えてないですけど、来年度は学校のプールを活用して水泳教室を実施したいと思っております。 この中では見えないんですよ。</p>
<p>山元班長</p>	<p>そうですね、ちょっと見える部分がございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>新たな取り組みといたしますか、小値賀の子どもたちが、あまり泳げないっていう問題、課題に対して、ちょっと、はい、チャレンジをしてみようと思っております。</p>
<p>横山委員</p>	<p>その、指導者とかっていうのは、どなたかいらっしゃる。</p>
<p>事務局 (山元班長)</p>	<p>すいません、事務局です。一応、水泳スクールの指導者につきましては、以前、北松西高校の方に勤務をしておりました富永先生がですね、いらっしゃったときにも水泳教室を開いてくださったりしておりましたけれども、来年度定年を迎えるのもありまして、ちょっとお声掛けさせていただいて、本人からも了承いただいておりますので、ちょっと富永先生に来ていただきたいと。 ただ、先生にずっとおんぶにだっこという訳にはいきませんので、町内の方にも有志を募ってですね、富永先生から教えてもらうことを、学んでいくっていう形ですね、最終的には町内で、それを教える人が育てられたらいいなというところで考えております。</p>
<p>横山委員</p>	<p>もう一つ、すいません、質問していいですか。 時期的に、去年とか、もうずっと夏場はすごく暑いじゃないですか。 暑くて、なんていうか、タイルも焼けるくらいに熱い、そうなりますよね。</p>

	<p>そこら辺の対策とかをしっかりとしてから行なえればと思います。</p>
<p>教 育 長 事 務 局 (山元班長)</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございます。</p>
教 育 長	<p>付け加えになるんですけど、水泳教室はします、予定してますけど、一方で、カヌー・サップ教室は、実施しないこととしております。</p> <p>放課後子ども教室のスタッフミーティング等でも説明しております。</p> <p>ほかに特別なかったですかね、事務局からも補足するようなことは。</p> <p>特にソフト事業、ハードはこの中にそれぞれ載せてますけど、特になかったですかね。大丈夫ですかね。それでは次に行ってよろしいでしょうか。</p>
教 育 委 員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>はい、ありがとうございます。続いて、教科用図書採択地区の変更に係る希望調査についてです。お願いします。</p>
<p>事 務 局 (坂井係長)</p>	<p>はい、事務局です。資料にありますとおり、現行は、平成 22 年に県の教育委員会告示にされてます、県北地区として、平戸、佐々、松浦とともに採択地区を形成しております。事務局としましては、現行どおりで行かせていただければと考えている次第であります。以上です。</p>
教 育 長	<p>それでは、この協議事項 2 の教科用図書採択地区の変更に係る希望調査についてですけれども、現行の県北地区、平戸、松浦、佐々と一緒に採択地区を構成するということによろしいでしょうか。</p>
教 育 委 員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>はい、ありがとうございます。続きまして、小値賀町教育振興補助金等交付要綱の一部改正案ですけれども、よろしくお願いします。</p>
<p>事 務 局 (牧尾次長)</p>	<p>はい、協議事項 3 ですね、補助金の要綱改正になります。</p> <p>今回は、世界遺産保全活動事業の内容を追記しております。</p> <p>ページの方、ちょっと下の方に行って、4 ページ目の方を見ていただければと思っております。ここに新たに項目として載せております。</p> <p>事業名、構成団体の規模、内容と、補助対象経費の内容、それと補助の範囲の額ということで、載せさせていただいております。</p>
教 育 長	<p>補足説明しますか。</p>
<p>事 務 局 (平田係長)</p>	<p>補足の方で説明いたしますと、この補助要綱の改定の目的が、民間団体が世界遺産の保全に取り組む事業に対して、町が財政的な支援を行うことができるようにするというのが一つの目的としてあります。</p> <p>具体的に、今後計画されていく事業としましては、令和 4 年度から令和 6 年</p>

	<p>度まで、小値賀町、小値賀町教育委員会、小値賀アイランドツーリズム協会、3者の共同主催という形で、野崎島の遺産保護活動、石垣に網を張っていく、獣害からですね、守る事業を実施しております。</p> <p>これは、実質的には教育委員会の方が事務局として事業を実施しております、財源にはですね、町の一般財源が充てられてきたという経緯があります。</p> <p>で、この事業に関しましては、令和7年度以降は、小値賀アイランドツーリズム協会が主催となって、民間主体となっております、実施していくということ、3年前から取り決めてですね、これまで準備してきておりまして、令和7年度は、その初年度になるということになります。</p> <p>で、そのようにして、令和7年度から小値賀アイランドツーリズム主体となることにあたり、その活動費用を町が補助できるように、この要綱の改正によってですね、そういうことが可能になるというふうなことがあります。</p> <p>また、その事業に関してなんですけれど、長崎県の方で、民間団体が保全活動を実施する場合には、10分の10の補助率で、上限50万円までという補助金がございます、この小値賀町の補助金の交付要綱を改正することによって、その県の補助金を町が受けて、町から民間の主体者に、その補助金を支出することができるという、いわゆる間接補助というものが取れるようになるというののもう一つの目的としてあります。また、そこの表にございますように、全額補助としておりますが、上限を、案としては70万円までとしております。</p> <p>実際に、その間接補助の県の補助金が満額50万円を支出するのであれば、ここは上限50万円としてしまえば、町からの手出しの補助がないんですけど、例えば、その県の補助金が満額受けられなかったりとか、将来的には、町が単独事業で実施するようになったりというふうな、県の補助金がなくなってしまったりっていうときでも、民間の活動にそういった支援ができるように、このような形でカウントして、上限額を少し上乗せして提示させていただいているという状況になります。因みに、この要綱自体は、その県費を受けて実施することだけを目的としておりませんし、小値賀アイランドツーリズム協会だけに限ったものではありませんので、今後町でそういった民間団体が、そういった保全活動を行いたいという意見が上がってきたときは、広く対応できるような要綱というふうに考えている次第です。事務局からは以上になります。</p>
教 育 長	しばらく休憩します。
教 育 長	再開します。
事 務 局 (平田係長)	教育長、すいません、補足をもう一度お願いしても。
教 育 長	よろしく申し上げます。
事 務 局 (平田係長)	<p>今委員の皆様に見ていただいております、資料の協議事項の3の交付要綱の末尾の4ページ、5ページのところですが、黄色く着色しているところが該当のところになっておりまして、黒文字でそのまま残しているのは、事務局内部での検討のものをそのまま修正なしのものを残してます。</p> <p>見え消しになっているものは、事務局での検討段階で、このように変更した方</p>

	<p>がいいんじゃないかということで、見え消しを入れて赤文字、朱文字にしておりますので、見え消しが入ってるものは、事務局の検討段階で修正したものととなりますので、一旦段階を経ているものを、今お示ししているという状況になります。その黒文字と赤文字の部分が、今回の改訂版というふうにご理解いただければと思います。</p>
教 育 長	見え消ししている部分を無視して読んでいただければいいってことやね。
事 務 局 (平田係長)	そうです。そのとおりです。
事 務 局 (山元班長)	<p>すいません、ちょっと補足しますと、ちょっとわかりづらい、黄色でして、見え消してるので、わかりづらいかもしれませんが、完全な新設の補助金になります。今までこの補助金はありませんでしたので、次の新旧対照表を見ていただければわかりますけども、なかった補助金が、今回新設で協議をいただきたいというふうになりまして、その内容が、ちょっと見え消しで事務局分ありますけども、今おっしゃったとおり、横線で消されてるのを無視して見ていただければ、大丈夫かと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
教 育 長	はい。何かございますでしょうか。
升 水 委 員	すいません、もう1回確認です。
教 育 長	はい、お願いします。
升 水 委 員	<p>今のこの要綱の最後のところの新旧対照表じゃなかですけども、見え消しで、黒い棒で訂正がかかっている、これは、元々こういう黒の方が、見え消しで消してるところが、従前の要綱の内容じゃなくて、事務局の案を、一応こがんで出とったんですけども、こういうふうに修正しましたっていうだけですか。</p> <p>非常にややこしかですね。元々これ、なかったもんね。</p>
事 務 局 (山元班長)	<p>すいません、事務局です。失礼します。</p> <p>元々なかったもので完全な新規分です。で、黒文字の消してる部分につきましては、参考にさせていただいた県の補助金の要綱ですとか、長崎市の補助金の要綱ですとか、そういったものを参考にさせていただいて、まず担当の方が考えをしております。その中で、事務局内で揉んだ中で、赤文字に修正をさせていただいたという、ちょっと事務局の協議の段階をちょっとここに示させていただけるような状況になってまして、大変わかりづらくなっております。</p>
升 水 委 員	<p>そいけん、70万にしたのは、元々50万やったのが、まあ20万ぐらいちょっと上げとこうかなって感じで上がったのかなって、憶測が出てくるもんですから。なかったんですね。</p>

事務局 (山元班長)	はい、申し訳ございません。完全な新設になります。
升水委員	はい。
教育長	上限額を70万に設定させていただいたのは、今年度50名ほど参加して、3年目でしたけど、一番参加が多くて、舟森も活動場所に追加した中でですね、担当の実感として、これぐらいが単年度でですね、1回、1事業でやれる最高レベルかなというところで、それぐらいの事業費があればいいんじゃないかという、財政負担の面も考慮した上で設定させていただきました。よろしいでしょうか。
升水委員	はい。
教育長	はい。ありがとうございます。この内容で、予算関係ですので、町長まで決裁を取りたいと思います。ありがとうございました。 以上で附議案件は全て終わりということですがけれども、事務局からは何もなかったんですかね。
(5) その他	
事務局 (牧尾次長)	その他で一つ報告、行事予定の報告をさせていただきたいと思います。 今月末の今週末の予定をさせてください。31日金曜日ですね、県の前川教育長と高校教育課の職員2名、合計3名が小値賀に来られます。 前日は宇久なんですけど、31日金曜日朝フェリーで小値賀に来られて、北松西高校、それから小値賀小中学校を視察をされます。 その後、役場に場所を移して、町長、教育長含んでですね、意見交換というふうな形の視察が予定されておりますので、ご報告させていただきます。 お昼2時のフェリーで、県庁の方に帰られるということで予定が組まれております。報告は以上です。
教育長	はい。委員さん方からは、特にないですかね。
中村委員	ちょっと休憩を。
教育長	しばらく休憩します。
教育長	再開します。特にないですかね。
横山委員	1点いいですか、行事で。 3月の1日が土曜日ですけども、3月の1日は、高校の卒業式ですけども。
事務局 (牧尾次長)	はい、事務局です。お答えします。3月1日、高校卒業式です。 曜日関係なく予定されていると伺っております。

横山委員

ありがとうございます。

教育長

ほかはございますでしょうか。
ないようでしたら、以上で1月の定例教育委員会を閉じたいと思います。
お疲れ様でした。ありがとうございました。

15時00分閉会

教育長 _____

教育委員 _____
